

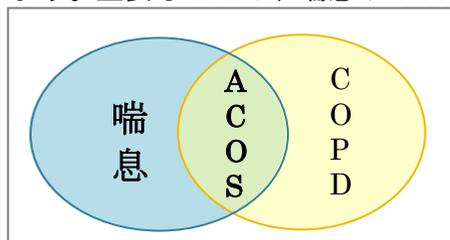
次に「ACOS（エイコスと呼ぶ）」の話題について紹介します。
COPD という略語は会員の皆様に普及し、慢性閉塞性肺疾患、肺気腫や慢性気管支炎のことを言っているのだと分かっている人も多いと思います。しかし、ACOS となると何の略語？ということになるでありましょう。最近、急速にこの略語が医学界、呼吸器疾患の分野で使われているのです。

**Asthma (喘息) — COPD — overlap (オーバーラップ・重なるという意味)
— Syndrome (シンドローム・症候群)**

下線の頭文字をとって、「ACOS」と呼んでいます。意味するところは、「喘息とCOPDが重なっている人たちや病状」であります。最近やたらと略語が多いのは「どもならん」と私も思いますが、長たらしい呼び名を長々と言うのも「どもならん」ので、会員の皆様にも覚えて頂きたく紹介しました。

成人喘息全体では、「喘息とCOPDが合併している人」は通常10~20%と考えられています。高齢化が進んできて高齢者になる程、その率が高まることから、国際ガイドライン委員会や日本の学会でも提唱され、問題になってきました。

右図のように考えると分かりやすいでありましょう。重要なことは、喘息やCOPD単独の治療をしてもよくなる人（全てがACOSだからというわけではなく、それぞれ単独の病気が重症のためよくなる人もいない）の中には、ACOSとして両方の治療をしなければならぬ人もいて、そう考えて治療すればよくなる人もいてということです。



医学的新情報の中に「ウルティプロ」を掲載しました。ACOSの人やCOPDの人には、この薬を付け加えることによって、よくなる人もいないのかもしれないのです。但し、タバコを吸っている人は止めないと使えません。「タバコが美味しくなった」とか「タバコを吸っても苦しくなくなったので本数が増えるだけ」になるからです。

ウルティプロを使う人は、レルベア、アドエア、アドエアー、シムビコート、ホクナリンテープは使えません。入っているクスリがダブって副作用が出るからです。ACOSの人はウルティプロの他に、ステロイド吸入のみの薬剤を併用する必要のある人がいます。前立腺肥大や緑内障のある人も主治医との相談が必要です。

こういう医学の進歩を正しく学ぶためには、今年も「わかばの更新」をしましょう。どんな発展や問題が今後起こるかは分からないのです。「わかば」で学びながら今年も元気に過ごしましょう。

清水先生第336回講座
「インフルエンザ、ACOS（エイコス）
今年も元気に過ごすためには」
日時：2015年2月17日～18日（火・水）
会場：栗津温泉 「金閣」
石川県喘息友の会総会・新年会にて
*事前に、総会新年会へのお申込みをして下さい。

毎回のテープ・CDとレジメの申込み先
1本1,100円（送料別500円）
（株）ニッカイ
TEL 06-6458-5407 FAX 06-6442-0166
〒553-0001 大阪府大阪市福島区海老江5-5-9
☆年間12本だと送料込み¥13,000でお得♪
☆ニッカイさんの御努力で価格は今まで通り！